

豪雨災害から街を守る



東京の地下30^{メートル}、
直径6^{メートル}、全長4.2^{キロメートル}。

巨大下水道管が集中豪雨を迎え撃つ。

大雨の際に一時的に雨水を溜め込み、
地上にあふれるのを防ぐ施設、
「江東幹線」現在建設中。

長年培った信頼性の高い技術で街を浸水から守りたい。
たとえ目には触れなくても、安心して安全な暮らしを支えることが
私たち大豊建設の使命です。

